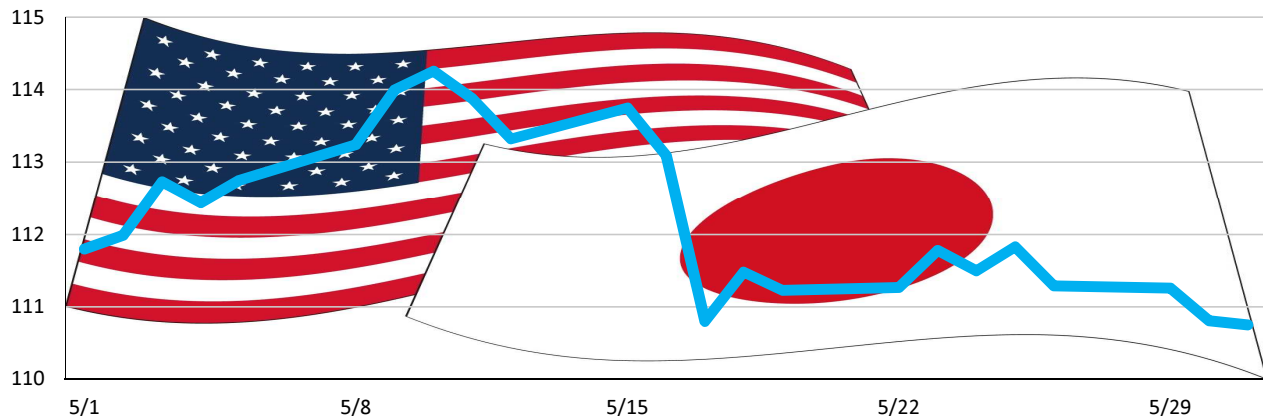


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 5月のドル円相場は、110円前半～114円半ばで推移。前半は強い米国経済指標にささえられるようにドル高基調となり、さらにフランス大統領決選投票で事前の予想通りマクロン氏が勝利したこともありリスク選好ムードとなった。その後も要人がドル高を支持するような発言もあったこともドル高の追い風となった。しかし、月半ばにはトランプ大統領弾劾の可能性が出始めたことにより一気にドル売りが加速し、それまでの流れが一変した。月末にかけてはドル売りとはならなかったものの、毎週のように北朝鮮がミサイルを発射していることや欧州での続発しているテロなど地政学リスクがあり、売られては買い戻されるという一進一退の流れが続くこととなった。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開: トランプ大統領について弾劾訴追の可能性が取り沙汰されてきた。米国大統領選挙に絡んだ疑惑が次々として出てくることにより政治的リスクが強まってきた。一部ではニクソン大統領が辞任に追い込まれたウォーターゲート事件になぞらえてロシアゲート事件と呼ばれるなどしているが、実際に訴追までされるかどうかは不透明だ。万が一、訴追ともなれば株が暴落してもおかしくなく、マーケットに大混乱を招きかねない。また、北朝鮮のミサイル発射や欧州各国で頻発しだしているテロなどの地政学リスクも台頭しており、現時点においては経過を見守るしかないが、大きな動きに対処できるポジションを取っておきたいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
6 / 29 (木)	21 : 30	US	米GDP確報値	☆☆☆☆
7 / 6 (木)	21 : 15	US	ADP雇用統計	☆☆☆☆
7 / 7 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
7 / 14 (金)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
7 / 14 (金)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
7 / 20 (木)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
7 / 20 (木)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。